

2022.5.9

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

新緑の武蔵野台地崖線 樹木の花もあちこちに咲いています



5/9は、今にも雨が降りそうな肌寒い日。3～4月のニリンソウ月間でボランティアのみなさんはガイド活動によく働いてくれてお疲れのところなのに11名も集まってくれました。みなさん元気！この日は足元に咲いている野草ばかりでなく、樹木の変化も面白く観察しました。

←観察コースの終点、大門広場ではトチノキの花が満開でした↓。



刻々と変化する林

秋に小型のどんぐりを実らせるシラカシは新しい葉の展開中。下の写真左は芽吹き始めたばかりの葉でまだ色づいていませんが、すぐに鮮やかな緑色に。梢の先を注意深く見ると、もう花芽を付けていました。これから9月まで、ゆっくりとどんぐりが育まれます。



植物調べ、みんなでやるとよいことばかり



四葉のクローバー見つけた！

あるところにはあるのですね。目ざとい人が見つけました（上写真左）。30年以上、この林に関わり続けていた人でも初めての観察でした。また、ある人が「なんだ、これは？」と叫びました。イヌムギの花（小穂）が今まさに開こうとしているところ。珍しい光景に出会いました。右下はヤセウツボ。他の植物に寄生して栄養を吸収して生きる植物＝寄生植物です。これも初観察でした。

いろいろな人が観察に参加していると、植物を観る視角がさまざまなので、一人では見つけられないものも見えてくるものです。また、植物の専門家がいなくても、みんなで知恵を絞り合うと、種の同定（名前を決定すること）もかなり出来るようになるものです。



「植物を刈り取らないで、抜かないで」のお願い札を付けました



都立赤塚公園は東京都が管理する公共の場所です。公共とはみんなのものであっても、誰か一人のものではないということ。自分の思いや都合で林や草原に踏み込んで「手入れ」をしたり、草花を持ち込んだり、刈り取ったり、木の実を採集して良いわけがありません。

モニタリングも保護活動も、すべて赤塚公園サービスセンターと協働しながら行っています。参加する人たちの動機や目的は様々ですが、共通しているのはここにある自然を大切にしたいという想いです。昆虫や野鳥など

の動物も含めて、ここにいるたくさんの生き物が生きやすい環境づくりです。ところどころに「取らないで」「抜かないで」のお願い札を付けてありますが、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

＜問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715＞

●植物モニタリング活動 次回は5/16 9:00 ため池公園スタート

終了後 12:00 過ぎから 30 分程度、沖山地区のロープ柵内保護エリアのハルジオンの抜き取り作業

●赤塚公園ニリンソウを守る会 6月例会 6/12 10:00 大門広場 観察と簡単な手入れ

★いずれも、飛び入り参加歓迎！ 雨天は小雨でも中止